

市民意見募集回答一覧

| | ご意見 | 横浜市対応 |
|----|---|--|
| 1 | 働く親のために「効率よい」食事づくりや安くあがる方法などの情報が流れるため、楽で安い方法を選ぶ流れになっていると思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます |
| 2 | 食育の取組は「おせっかい」と捉えられてしまうことも多い。おせっかいではなく、一人ひとりの問題として捉えてもらえるよう行政による働きかけが必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、引き続き周知・啓発の働きかけを行っていきます。 |
| 3 | 食は家庭環境から反映する。格差社会、貧困の問題が食の問題につながってくる。 | ご意見の趣旨を踏まえ、保健、福祉、教育等の関連分野を連携させた横断的な視点で取組を進めていきます。 |
| 4 | 子どもの貧困、ひとり親家庭で三食とることもままならない現実があることも配慮していただきたい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、保健、福祉、教育等の関連分野を連携させた横断的な視点で取組を進めていきます。 |
| 5 | 貧困家庭が増えている中、各家庭への支援等にも目を向けていただくような方策も是非ご検討をお願いしたいと思います。 | ご意見の趣旨を踏まえ、保健、福祉、教育等の関連分野を連携させた横断的な視点で取組を進めていきます。 |
| 6 | 子育て世代も、外食や出来合いもので済ます親と手作り派の親と両極端な印象がある。若い世代の食の乱れは社会的な背景も大きいのでは。痩せている女性がもてはやされたりするのもその一例。ヘルスメイトの活動だけでは収まらないスケールの大きい社会的な背景があるように思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 7 | 食育が大事であることは頭で分かっている人も多いが、具体的に何をすればいいのかが分からない人が多いと思う。例えば、減塩の食事をとりましょうではなく、それぞれの食品の塩分量はどのくらいなのか、どんなことに気を付けて料理すれば減塩の食事になるのか、を分かりやすく示してほしい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 8 | 毎日、栄養バランスのよい食生活を徹底することは、難しいし、大変。昼に食べすぎたと思ったら、夜は少なめにするなど、身近なことから始めましょうというスタンスが大切。そのためには、何をすればいいのかという具体策を示すと分かりやすいと思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 9 | 子育て相談は食を含めた様々な生活相談が話題となる。ニーズに合わせた対応が必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 10 | 健康福祉、健康寿命の推進(ある国を名指しするものではない) | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 11 | 計画は各分野ごとに整理されているが、縦割り感で整理するのではなく、クロスオーバーする取組も必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、計画の2「計画を策定する背景」について(P1)に、「食の問題を横断的に捉え」を追記します。 |
| 12 | 乳幼児健診、公教育、保護者への発信など、様々な機会を通して、食教育を発信できる「食の伝道者」が必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、食育を担う人材の育成を着実に進めていきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|---|
| 13 | 「食環境」は育った環境の影響が大きい。全体的なレベルアップが必要。そのためには、しっかりした「大人」の育成が必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、食育を担う人材の育成を着実に進めていきます。 |
| 14 | 食育は「継続」の視点が重要。レベルの高い層には「実践」の視点が重要だが、課題のある層に対しては引き続き「更なる周知」が必要ではないか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、第2期食育推進計画の特徴(①P30 1)のなかに、周知について一部追記します。また、課題のある層については、粘り強く、働きかけを工夫しながら取り組んでいきます。 |
| 15 | 「栄養、福祉」の支援が必要な子どももいる。横浜市は地域格差が大きいので、啓発の方法にも工夫が必要だ。(シングルマザーや貧困家庭等) | ご意見の趣旨を踏まえ、保健、福祉、教育等の関連分野を連携させた横断的な取組を進めていきます。 |
| 16 | 食育に対する関心は高低差が感じられます。食育という言葉は思っているより一般に浸透していない気がします。 | ご意見の趣旨を踏まえ、引き続き周知・啓発の働きかけを行っていきます。 |
| 17 | これだけ素晴らしい食に対する目標をどこまで取り組まれるか期待したい。食育という中身がもっと身近なものであってほしい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 18 | 「食は生きるために欠かせないものであり、健全な心身を育む健康づくりの基礎」という理念にとっても共感しました。野菜を多くとるなど気をつけているつもりですが、小さい子どもがいてつい簡単に済ませてしまいがちです。今回の食育推進計画を読んであらためて自分の食事を見直そうと思えました。内容にある様な食のイベントがあれば、親子で参加したいです。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 19 | 「食育」という言葉が好きではありません。「食育」は行政がやることではないと思う。「食育」ではなく「食べる」ことを大事にしたい。 | 食育は、市民、企業・団体など多くの方々が担い手であり、行政は、それを支援するコーディネーターであると考えています。今後も本市の食育活動が活性化するように、取組を進めていきます。 |
| 20 | スポーツとの連携では、スポーツ選手との交流等に取り組んではいかがでしょうか | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 21 | 夏休みなど長期休暇中に家庭での食育モデル校を設置してみてもどうか | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 22 | 食べる機能に関する内容を盛り込んでほしい。たとえば、乳幼児期からの食べる機能の発達、離乳食を与えるタイミング、姿勢、食べ方、そして稔りの世代での摂食嚥下機能低下予防とライフステージにそった対策 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 23 | スポーツ施策との連携では東京オリンピックも控えていることから、様々な団体との連携が必要 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 24 | 家庭料理が難しくなりすぎている。家庭料理はもっと簡単なものでいいので、家庭で作ることを大切にすべき | 本計画では新たに、個別目標像として「年代や性別に関係なく、健康に配慮した簡単な料理が作れている」を追加しました。 |
| 25 | 和食を見直す活動が必要である。和食は日本の風土や日本人の生活に合った食事である | ご意見の趣旨を踏まえ、和食を栄養バランスの良い食事の一つとして取扱い、計画を修正します。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|--|---|
| 26 | 食事バランスは、毎食でなくても、1週間単位で考えるなど、伝え方の工夫が必要。講座やチラシ等では分かりにくい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 27 | 食事の選び方が重要な時代になっている。選択する力を育む | ご意見の趣旨は、「食品を選ぶ力」として計画に位置付けており、この取組を着実に推進していきます。 |
| 28 | 数値目標の「一日の食塩摂取量」は7gを推奨する | 一日の食塩摂取量については、第2期健康横浜21の数値目標を基に8gに設定しています。 |
| 29 | 朝食の欠食率で40代男性も芳しくないようだ。時間の経過に伴い、課題のあるライフステージは遷移する。そういう視点で物事をとらえたほうがいい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 30 | 主食／主菜／副菜を組み合わせた食事の目標値80%は厳しいのではないかと。達成できる目標を設定すべき。 | 「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合:80%以上」という目標は、第2期健康横浜21の数値目標を基に設定しています。数値目標の達成に向けて、計画を着実に進めていきます。 |
| 31 | 「栄養や食事の作り方等を知ることについて」の目標値について、この項目は基本的なものとなるので、35%では低すぎる。少なくとも40%以上の過半数を目安にすべきではないか。 | 「栄養や食事の作り方等を知ることについて、関心があり継続してできている市民の割合」という目標は、年代や性別によっても差があり、現状値の30.1%を参考に、本計画では35%に設定しました。この数値目標の達成に向けて、計画を着実に進めていきます。 |
| 32 | 拠点で母親向けに骨密度測定などを行うが、産後の母親の健康状態が良くない。子どもへのお弁当は手作りしても、自分は菓子パンという母親も多い。母親の歯科のチェックなども重要である。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 33 | 朝食・夕食を家族等と一緒に食べる頻度(共食の回数) 週10回以上の目標について、こどもが中高生世代になると朝、夜も時間帯はどうしてもバラバラになります。朝練習が6時、7時集合もざらにあり、放課後練習も19時まで、ということが日常です。 そのことはこの食育のなかではどのように考えているのでしょうか。 食育の観点からの理想はわかります。でも、教育委員会所掌の学校での日常とは全くリンクしていないと思います。高校で学食がないところもあります。学食もない上に、早朝練習、放課後練習、近所にコンビニもないというような場所があります。そうしたところの環境整備も御願いたいと思います。 | 本計画では、共食は家族だけでなく、友人や地域の人たちとの食事でも共食と捉えています。1週間のなかで毎日1回以上は共食することと、休日の食生活の状況を加味して、週10回以上に目標値を設定しました。 ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|--|--|
| 34 | <p>子どもへの食育啓発について、地域子育て支援拠点においても、保育所給食レシピの配布などを行っており、利用者の関心は非常に高いです。 ただ、その資料の入手が実はなかなか大変で、たまたま目にした資料をもらってくる、区役所にいったときに乳幼児健診コーナーに配架されているものをもらってくる、というような努力をしています。ウェブサイトに掲載をしていること、をもう少し積極的に周知できるとよいと思います。</p> | <p>啓発物やレシピの周知方法等については、ホームページの活用等も含めて、創意工夫をこらして取組を進めていきます。</p> |
| 35 | <p>口腔機能の獲得として、子育てに関わる人たちに力を入れて取り組んでほしい。味覚の形成もしやすい。また、味覚を育てることは、大人になってからの嗜好に影響する</p> | <p>ご意見を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 36 | <p>バランスのとれた食事には、肉も魚も必要だが、野菜、農産物しか記載がない。</p> | <p>本計画において、バランスの良い食事として、肉や魚も必要であることは認識しています。計画に、主食、主菜、副菜に、主食(米等)、主菜(肉、魚等)、副菜(野菜等)と補記します。</p> |
| 37 | <p>食は人を良くするものであって欠食はもってのほかですし、楽しく食事をする大切さをもっと広めて欲しいです。また、食べたもので体が作られ、ゆくゆくは子を産み育てたりする体作りということにも焦点を置いて欲しいです。最近の不妊は絶対に食と関連してる。そこを行政からも発信してほしいです。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 38 | <p>食育に対する関心が問題ではなく、働いている人々の時間的余裕が少なく、省かれている時間が食事の時間なのではないでしょうか。栄養バランスまで考えた食事となればなおさらです。そのため、働く中心である、20代、30代の朝食欠食にあらわれていると思われます。企業の例では、40代、50代はそれなりの役職で自分の都合よく時間をコントロールできるため、20代、30代の社員の方々よりは時間的余裕が生まれるのではと思います。他の外的要因も含め考える必要があると感じます。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、企業と健康づくりを進める「健康経営」の取組について追記します。</p> |
| 39 | <p>子どものアレルギー対応は、きめ細かな対応が必要。アレルギーのある子の親は身近な地域でアレルギー対応の食品が入手できる情報を個々に探しているの、情報提供の側面から支援が必要ではないか。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 40 | <p>食の重要なテーマとして食品添加物をさらに少なくする必要がある。ただ美味しくさせるための化学物の減量及び削減。表示を見る習慣をつける。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 41 | <p>食の安全の推進は引き続き取り組んでいくべき</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。</p> |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|--|--|
| 42 | 食の安全の推進に「窒息予防」の取組が必要 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 43 | 嚙ミング30について、推進とコラムなどでの説明を入れてはどうか | ご意見の趣旨を踏まえ、歯科の取組のひとつとして、嚙ミング30の取組を追記します。 |
| 44 | 電車の中での食事や、パンの立ち食いなど、食事のマナーが悪化しているように感じる。その子が親になり、またその子もマナーが悪くなるという悪循環になっているのであろう。 | 全てのライフステージに切れ目のない対応が必要と考えています。ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 45 | 給食を食べるときの姿勢、マナー等が大切 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 46 | 共食、一緒に食べる、の前に、一緒に調理するという視点が必要ではないか。子どもの頃からの調理体験が大切である | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 47 | 「ダイニングからの食育」という言葉があるように食事時間の確保(共食等)は食育の基本。それが家族のつながりにもなっていく。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 48 | 3R等の取組について、小～中までは意識が高いが、高校生にもなるとその意識は薄まってきているように感じる。そこに働きかけを行うことができる「大人」の不在が大きい。食育従事者以外の「大人」の育成が不可欠。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 49 | 食べものがあふれているし、量やエネルギーも増加傾向にある。その反面、食の内容や、食事をする機会が貧しくなっていないか。共食などの機会が大切 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 50 | 学校への出前教室で小学生と給食を食べる機会があるが、一緒に食事をする距離が縮まるという実感があるので、共食の取組は重要であると考えます。 | 共食については、本計画において明確に位置付けています。ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 51 | 食のイベントは人気が高い。食はつながりをつくりやすい。地域ぐるみのイベントを通して、地域の食の知恵を伝承するようなこともできると思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画では、多世代交流や、地域のつながりを活かした取組を進める旨を追記します。 |
| 52 | 乳幼児期にどのような食生活をしたかが非常に大切なので、子どもの頃の体験に力をいれることが重要。 | 教育・体験の充実を本計画に明確に位置付けており、ご意見の趣旨を踏まえ、計画を着実に進めていきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|---|
| 53 | 子どもの体験にシニアを巻き込むなど、地域などと一緒に行くことも有効。施設などではそのような取組も多い。 | ご意見の趣旨を踏まえ、計画では、多世代交流や、地域のつながりを活かした取組を進める旨を追記します。 |
| 54 | 食文化の継承には、子どもとシニアの協働企画などが必要ではないか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、計画では、多世代交流や、地域のつながりを活かした取組を進める旨を追記します。 |
| 55 | 和食という言葉をごどこかに入れるべきではないか。無形文化遺産に指定されたし、伝統食としても分類してもいい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、和食を栄養バランスの良い食事の一つとして取扱い、計画を修正します。 |
| 56 | 和食の基本は、ご飯、味噌汁、香の物や煮物といった「一汁三菜」ですが、こうしたバランスの良い和食を食べる人が減っているそうです。栄養学的にみてバランスのとれた健康食&長寿食である和食をもっと取り入れて、子ども達に和食のおいしさ、素晴らしさを伝えていくのは大人の役目だと思います。ユネスコの無形文化財に登録された「和食」=日本の伝統的な食文化、をぜひ食育に生かし、その良さをもっと日本人自身も知っていけると良いと思います。 | ご意見の趣旨を踏まえ、和食を栄養バランスの良い食事の一つとして取扱い、計画を修正します。 |
| 57 | 口腔ケアについて、学童期で獲得できなかった場合のフォローアップも必要 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 58 | 地産地消について、地場産物は高いというイメージがある。鮮度が落ちた高い地場産物と、隣にある新鮮そうな安い野菜があれば、安い野菜を買ってしまう。ロゴもJA等ではみたことはあるが、一般のスーパーではあまり見たことがない。海外産と国内産であれば、国内産を買うという人も多いと思うが、国内産のうち、説得力のあるPRがされていなければ(例:朝採れたて、低農薬など)横浜市産にこだわることは難しいと思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 59 | 栽培や収穫体験から、生き物の命をとめさせていただくということを意識してほしい | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|--|
| 60 | <p>地産地消とはなにか、具体的に示してほしい。横浜産なのか、国産なのか、地産地消にもいろいろある。</p> | <p>「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」において、本市における地産地消は、市内産農畜産物を市内で消費することと定義していますが、生産量に限りがあることから、市内の消費をすべて市内産でまかなうことを目的としてはいません。食育の取組を進めるにあたっては、国内産、県内産の活用が必要であると考えています。</p> |
| 61 | <p>食料自給率が低いのに、地産地消だけでいいのか。</p> | <p>「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」において、本市における地産地消は、市内産農畜産物を市内で消費することと定義していますが、生産量に限りがあることから、市内の消費をすべて市内産でまかなうことを目的としてはいません。食育の取組を進めるにあたっては、国内産、県内産の活用が必要であると考えています。</p> |
| 62 | <p>「横浜らしさ」には、流通や多様な食材も入るのではないかと 横浜産+他の産物=横浜らしさ なのではないか</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、多種多様な食材や料理があることが横浜らしい食文化の一つである旨を追記します。</p> |
| 63 | <p>地産地消は大賛成ですが、食の安全性についてどこまでの安全性なのか。例えば、有機農法、自然農法、農薬の散布範囲等、生産者の取組はどうするのか。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|---|
| 64 | 地産地消について、数多く作る必要がなくロット数が少ないため、1企業で取り組むには産業化が難しい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 65 | 地産地消の戦略として、安心・安全という地域の内向きの目的と、地場ブランドを地域の外に展開する外向きの目的と分けて考える必要がある。横浜市はどちらの方向で地産地消を進めるのか。 | 「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」に基づき、本市における地産地消は、市内産農畜産物を市内で消費することを目的に推進しています。 |
| 66 | 横浜市内産物だけの地産地消は難しい。幅広く、県内産、国産で考えることも必要 | 「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」において、本市における地産地消は、市内産農畜産物を市内で消費することと定義していますが、生産量に限りがあることから、市内の消費をすべて市内産でまかなうことを目的としてはいません。よって、食育の取組を進めるにあたっては、国内産、県内産の活用が必要であると考えています。 |
| 67 | 地産地消は大切だが、それだけの生産量があるのだろうか。 | 「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」において、本市における地産地消は、市内産農畜産物を市内で消費することと定義していますが、生産量に限りがあることから、市内の消費をすべて市内産でまかなうことを目的としてはいません。よって、食育の取組を進めるにあたっては、国内産、県内産の活用が必要であると考えています。 |
| 68 | 浜なしは市場に出回らないくらい人気である。他の市内産農畜産物もなしの手法でPRしてはどうか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 69 | スーパーの産地コーナーに横浜市産のものが少ないなかで、市内産農畜産物ブランド戦略は策定が難しいのではないかと。無理して地産地消を進めなくてもいいのではないかと。希少価値の視点では、現在も需要と供給のバランスがとれているのではないかと。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|--|
| 70 | 地産地消はみんな関心があるが、買いたい時に買うことができない | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 71 | 地産地消について、「農」をターゲットにし過ぎている。ブランド戦略との整合でいえば、「農畜を感じる場」とすべき。 | 本市では、畜産も含め市内産農畜産物を対象に地産地消を推進しています。 |
| 72 | 食育も地産地消も言葉は浸透したが、従来の啓発だけでは行き詰る。啓発方法を工夫すべき。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 73 | 地産地消の取組は、団体間でも様々な取組があり、時に競合する場もみられるので、連携も必要と考える。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 74 | 加工食品にも添加物の表示義務化等 | 食品表示法等の関係法に基づき、食の安全を確保します。 |
| 75 | 情報提供による環境整備の「情報のギャップ」は大事な視点。マスコミ等では、利点のみがフォーカスされ、そのデメリット等の負の情報がないがしろになりがち。公平な視点で、情報を捉えることが大事で、その役割は行政(栄養士)の役割が大きいはず。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 76 | 料理の十分な経験がなく、親になっている人が多いように見受けられる。核家族化や、実母も仕事で忙しいなどで、身近な人から適切な情報をもらえない人も多いようだ。出汁の取り方や離乳食を作る工夫などを親から教えられていない様子がある。そうした学習の機会は保健センターでも行っているが、行政は敷居が高いイメージがあるので、身近な場所にある保育園、子育て広場や拠点、地域ケアプラザ、地域の子育てサロンなど、地域のつながりを活かしたサポート体制も必要ではないか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画では、多世代交流や、地域のつながりを活かした取組を進める旨を追記します。 |
| 77 | 地域の母親サークルは活発に活動しているものも多い。体験型イベントなど、「楽しい」をキーワードに食育の取組を進めれば、浸透していくと思う。逆に、サークルなどに所属していない人には情報が届きにくいので、地域の子育てサロンや自治会、地域ケアプラザ等の地域のつながりを活かしたイベントでの交流は効果があると思う。信頼できる年配者からのアドバイスは母親にとっては参考になるようだ。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 78 | 一市民、区民がどう関わっていったらいいのか具体的な手法が分からない。 | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|--|
| 79 | 広報について町内会・自治会の回覧板、掲示板、口コミ等を有効活用し、拡げていくこと | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 80 | 食生活等改善推進員の養成講座を子育て拠点で実施してはどうか。食に対する関心の高い人が多く、講座の内容ともマッチする。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 81 | 人材育成が大事。子どもを教育できる「大人」の育成が重要である。 | 食育を担う人材の育成を着実に進めていきます。 |
| 82 | 食生活等改善推進員に大学生やボランティアなどを勧誘してはどうか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 83 | 食生活等改善推進員養成講座について、実施回数をはじめいろいろな要件が変わって来て、講座のカリキュラムも現会員が学んできたことと違って来るのではないかと。また、健康づくりに関して新しい知識がどんどんと変わりつつあるなかで、ベテランの会員と新入会員との知識のギャップを埋めるような支援がいただけたらと思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、食生活等改善推進員の活動支援や養成講座の充実に取り組んでいきます。 |
| 84 | 養成講座を受講しても入会につながらない受講者も多い。入会率を高めていくためについても検討する必要がある | ご意見の趣旨を踏まえ、食生活等改善推進員の活動支援や養成講座の充実に取り組んでいきます。 |
| 85 | 学校とのつながりが一番必要だと思う。介入が難しい、働き・子育て世代に対しても子どもの食を介して関わることができる。PTAや家庭科の先生を窓口にする人が多いが、校長先生を介して活動につながったこともあった。小・中学校間にもヘルスメイトの知名度があがっていけば活動がしやすくなる。 | ご意見の趣旨を踏まえ、食生活等改善推進員の活動支援や養成講座の充実に取り組んでいきます。 |
| 86 | ヘルスメイトの活動は、だしの活用をはじめ日本古来の食文化の継承を進めているが、横浜らしい食文化という視点も必要。 | 各種イベント等をとおして、横浜らしい食文化の継承に取り組んでいきます。 |
| 87 | 私は食を中心としたボランティアであるヘルスメイトです。食育には、何よりも小さい頃からの植え付けが重要と感じ、学校にお願いをするのですが、ガードがとても固くなかなか実現しません。特に中学校の校長先生の許可がいただけません。健康福祉局と教育委員会の間でお話しをしていただいて、民間のボランティアの力をもっと利用していただけたらと思います。学校にとって決して損なことにならないです、よろしくお願ひします、 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|----|---|---|
| 88 | <p>食生活等改善推進員協議会で動いている者です。委員になると、日本食生活協会から、食育アドバイザーの資格が出ることが皆さんに知られてないのですが、少し宣伝すると、興味を持って活動したいという人が増えるのではと思います。食育の正しい知識を持つ人も増えるのではと思います。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 89 | <p>企業・団体はそれぞれ食育の取組をおこなっている。行政には、その横繋ぎをお願いしたい。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、企業・団体との連携を強化するための取組を追記します。</p> |
| 90 | <p>さまざまな企業、団体が食育を行っているので、それぞれの得意分野で連携していきたい。行政には、連携の枠組みをつくってほしい</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、企業・団体との連携を強化するための取組を追記します。</p> |
| 91 | <p>学校での企業・団体による食育出前教室について、第1期においても企業や団体が独自に食育出前教室をおこなっている。企業が独自におこなうのではなく、横浜市教育委員会とも連携をとり、横浜市全体でまんべんなく出前講座をおこなえるような仕組みを考えていただきたい。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、企業・団体との連携を強化するための取組を追記します。</p> |
| 92 | <p>外食産業との連携が必要である。無意識にバランスの良い食事を食べている、という環境づくりをするべき。バランスの良い食事を作る、というには限界がある。意識せずに生活するだけで健康になる、という環境作りが必要</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 93 | <p>企業が社員に対して食育を進めてほしい。社員研修のプログラムなどに組み込んでいくべき</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、企業と健康づくりを進める「健康経営」の取組について追記します。</p> |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|-----|--|--|
| 94 | 行政、団体、企業など色々な所で食育の活動や料理教室が行われているので、情報を集約して発信できないか。市民に分かりやすいような場が必要ではないか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、企業・団体との連携を強化するための取組を追記します。 |
| 95 | 給食で栄養バランスがよい食事が取れているから、朝、晩を手抜き料理にになってしまうという人も多いようだ。そういう意味では給食の役割は大きいと思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 96 | 給食だよりで栄養士さんから食べ物についての知識や地産地消の大切さ、お弁当のバランスよいつめ方など教えてもらえるのはありがたい。家庭科で、授業や実習で、バランスや味付けを学び家でも「自分でつくる」取組をしてもらえるので、知るきっかけになる。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 97 | 第1期計画で「若い層に健康的な食生活やバランスよく食べる力が身についていない」とありました。ライフステージの育ち学びの時期(特に保育園・小学校・中学校)に栄養バランス、食の安全、食文化、食の楽しさ、地産地消等を周知理解させ、実践、継続させる様「食育」を進めたい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 98 | 20代、30代の働く世代の親は関心があっても忙しい。様々な場面で子どもからも投げかけてもらい、親子で健康について、食について考え、実践し継続してゆくことも大切である。稔りの時期には食習慣が身についているといい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 99 | 20代女性の「やせ」の問題は、その人が親になったときの自分や子どもに対する影響を考えれば、単発的な問題ではない。それを改善していくためには、彼らにしっかり教育することが必要。公教育の9年間でしっかり取り組むこと、教育できる「大人」がいる、ことなど、環境づくりが必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 100 | ばくばくだより(学校、保育所等で配付する献立)をもっと活用し市民が目にも留める工夫をする。市民も給食に関心を持つようにしたほうがいい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 101 | 学校では、生徒と直接接する機会の多い職員の食育の力を上げることが子どもへの食育につながる。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 102 | 家庭との連携が必要である。学校をとした啓発が重要になってくる。栄養士や食育に関わる人材の配置が必要である。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 103 | 教育／体験の充実が大切。一般消費者への啓発活動は見過ごされがちであるが、学校や保育園等では学生や児童に直接教育することができる利点を生かすべき。そういう意味で学校栄養士の役割は大きい。 | 本計画では、教育・体験の充実を推進テーマに明確に位置付けて、取組を着実に推進していきます。 |
| 104 | 本当の食育推進をしたいなら、給食を提供してほしい。(中学校)配達弁当でごまかさないでほしい。この件に関しては、議会だけでなく、子を持つ親にきちんと聞いてやるべきだと思う。生徒の保護者ではなく、現在乳幼児を抱えている親に聞けば、将来横浜に住み続けたいかどうか本音が見えてくるのでは。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 105 | 一般市民、無関心層へのアプローチをどのように行っていくかが課題である | 食の持つ魅力「おいしさ」や「楽しさ」を生かしながら、分野を超えた横断的な取組を進めます。 |
| 106 | 目標のイメージを示したほうが良いのではないかと。文字だけでなく視覚でアピール。マンガやアニメ | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|-----|--|--|
| 107 | 食育に関する情報発信が弱いのではないかと | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 108 | 市民が食育行動に対して、具体的にイメージがわくようなもの(冊子など)をつくってほしい | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 109 | 手をかけることの大切さ、多少高くても安心な食材を選んでいねいに食べる等、時間をかけてもよいことを伝えたり、取り組むことも必要だと思う。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 110 | 第2期計画の素案のテーマはすでに出し尽くされており、目的に沿った確実な実行と結果のみである。学校・家庭・地域社会等いかに理解されるかの方策が必要。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 111 | 親の健康と子どもの体験をセットで行うなど、啓発にも工夫が必要である。 | 多世代交流や、地域のつながり、食の持つ魅力「おいしさ」や「楽しさ」等を生かしながら、分野を超えた横断的な取組を進めます。 |
| 112 | 食育への関心が高い層と、無関心な層の二極化が激しいのでアプローチを工夫すべき | 食の持つ魅力「おいしさ」や「楽しさ」を生かしながら、分野を超えた横断的な取組を進めます。 |
| 113 | 小学生や中学生に「食育クイズ」をしてみると、家庭の食環境が反映された結果が出てきている。一般市民に対する意識調査だけでなく、こどもを対象とした「食育クイズ」等のツールも活用するのよい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 114 | 計画の見せ方を工夫すべき。映像などで啓発してもいいのではないかと。 | ご意見の趣旨を踏まえ、別途策定する計画の概要を分かりやすく示したパンフレット等を活用して、創意工夫しながら啓発を行っていきます。 |
| 115 | 周知から実践へ、という視点は良い | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 116 | 小中学生、親子、等ターゲットを絞ってアプローチすべき | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 117 | 市民にとっては、計画の内容が難しいもの、押しつけがましいものにならないように内容を工夫すべき | 食の持つ魅力「おいしさ」や「楽しさ」を生かしながら、分野を超えた横断的な取組を進めます。 |
| 118 | 食育ホームページを講座の告知等の情報発信のツールとして有効活用してもらいたい。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 119 | 食に興味があり、しっかり実践できている人と、経済事情等により、食に関心を持つ余裕がない層と二極化しているように感じる。それぞれのアプローチは難しい。 | 食の持つ魅力「おいしさ」や「楽しさ」を生かしながら、分野を超えた横断的な取組を進めます。 |
| 120 | 無関心層へのアプローチも必要である | 食の持つ魅力「おいしさ」や「楽しさ」を生かしながら、分野を超えた横断的な取組を進めます。 |
| 121 | 理念、基本目標、推進テーマは重要なことだと思います。いかに実践していくかが課題ではないでしょうか。食育は一般には余りなじみがないように感じています。 | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|-----|---|---------------------------------------|
| 122 | 生きる上で「食育」が一番重要な事です。理念・基本目標・目標像は素晴らしいと思いますが、計画等が幅広く難しいと推進していくにも困難をきたす様な気がします。市民意識調査から改善を糸口に推進していく様な方法も重要だと考えます。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 123 | 食育の取組結果の数値化や数値目標の評価は難しい | 定性的評価と定量的評価の両側面で検証しながら、計画を着実に進めていきます。 |
| 124 | きめの細かい良い方針が立てられていると思います | ご意見の趣旨を踏まえ、本計画を着実に進めていきます。 |
| 125 | 食育→小学校の家庭科の時間に、栄養、運動、睡眠の大切さを教える。 キャンプ→その為にキャンプを義務づける。 家庭教育→学校の先生もまきこんで家庭教育の大切さを強化させる。 バランス→学校教育、家庭教育の中にバランス(全人間的)を重要視して、身体、勉学の健全さを大切に、バランス=病気のない状態と考えよう。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 126 | 子どもの時からの食育が一番必要と考えます。家庭のなかで台所に立つ母親から知識を得て、育っていく訳ですから、母親への教育と、小・中・高校生への食育をし、健康な大人になっていくような食育啓発が望まれます。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 127 | 1期と2期の数値目標の関係を概要版で分かりやすく示してほしい | ご意見の趣旨を踏まえ、第1期と第2期の数値目標の比較一覧表を追加します。 |
| 128 | ステレオタイプ的な発想になってしまう人もいますので、食育分野では広い視野で取り組むことが必要ではないか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 129 | 数値目標の設定は取組の推進にあたってどのくらい効果があるのか。限られた人数を対象とした意識調査の結果は現状を全て反映しているとは思えない。 | 定性的評価と定量的評価の両側面で検証しながら、計画を着実に進めていきます。 |
| 130 | 数値目標の達成度について、対象者が少ないアンケート調査だけで実態を把握できるのか。 | 定性的評価と定量的評価の両側面で検証しながら、計画を着実に進めていきます。 |
| 131 | 親世代への食育啓発は必要である。親世代も興味があるスポーツなどを切り口にアプローチしてはどうか。 | ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 132 | 「食事時間の楽しさ」について、現状値より目標値が低いのはおかしい。 | 現状値を維持する趣旨で目標値を設定しました。 |

市民意見募集回答一覧

| | | |
|-----|---|---------------------------------------|
| 133 | <p>最近「子ども食堂」が日本全国各所で開催されている。親と子両方への食育の場として着目している。ぜひ横浜市でも「子ども食堂」のような食の場の開催を推進していただきたい。もちろん高齢の方も関わられるような交流の場となれば食の文化の継承など様々な効果が期待できる。ケアブラの活用もひとつのアプローチではないだろうか。今回の計画に取り入れていただきたい。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 134 | <p>食育の取組等の参考になる幼稚園があるので参考にしてください。</p> | <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |